



令和7年度 学校案内

長野県上田高等学校

Nagano Prefectural Ueda Senior High School



校長メッセージ

上田高校の根底に流れるのは「いざ百難に試みむ」の気概です。楽しみながら挑戦する生徒と先生の姿であふれる学校です。

本校は、120 年を超える歴史と伝統を有する一方で、平成 27 年度から令和元年度まで 5 年間 SGH、令和 2 年度から 4 年間 WWL コンソーシアム構築支援事業のカリキュラム開発拠点校の指定を文部科学省から受けてきました。「学び」の最先端を目指す「古くて新しい」学校です。

また、定時制は昭和 23 年に設置され、きめ細かな指導を行うことが特色ですが、三修制も選択できるなど、こちらも新しい定時制の「学び」の仕組みを整えています。

正門は歴史を感じさせる「古城の門」、しなの鉄道と北陸新幹線の上田駅からは徒歩で数分、四季豊かな上田城跡公園も近くにあり、恵まれた環境と佇まいの中で、自ら考えるとともに、仲間と協働し、結論を導いて、それを表現する、そんな「新しい学び」(探究的な学び)に学校全体で取り組んでいます。



校長 宮下 美和

目指す人物像

- 常識や前例にとらわれず、自分の頭で考え、判断し、自らの意思で行動できる人
- 強い想い・高い志を持ち、それを自分の言葉で語り、カタチにできる人
- グローバルな視野を持って新しい価値や未来を創造できる人
- 社会をよりよい方向に変革し、自分の幸福とともに他の人の幸福のために尽力できる人

沿革

- 明治11年 上田変則中学校設立
- 明治28年 校舎を上田藩主居館跡(現在地)に移転
- 明治33年 長野県上田中学校となる
- 大正11年 校歌作成、大正13年校歌発表会
- 昭和23年 長野県上田松尾高等学校発足、定時制設置
- 昭和33年 長野県上田高等学校と改称
- 昭和39年 同窓会館竣工(創立60周年事業)
- 昭和50年 校舎全面改築工事開始
- 昭和52年 第2グラウンド竣工
- 昭和55年 正門・土堀大修理
- 平成12年 創立100周年記念事業挙行
- 平成22年 合宿所(明倫舎)完成
- 平成26年 SGHアソシエイト校指定
長野県21世紀型教育モデル校指定
- 平成27年 スーパーグローバルハイスクール (SGH)指定
- 平成28年 台湾国立苗栗高級中学と姉妹校提携締結
東京外国語大学と高大連携協定締結
- 令和 2年 WWLカリキュラム開発拠点校指定
- 令和 6年 文部科学省DXハイスクールに採択

日本一の兵 真田氏ゆかりの高校



上田城は 1583 年、真田昌幸によって築かれた平城です。1600 年の関ヶ原合戦後に徳川勢によって破却されたため、後を継いだ真田信之は三の丸跡に居館を構えました。これが現在、上田高校のある場所です。その後も幕末に至るまで藩主邸はこの地にあり、実質的な上田城本丸として機能しました。表門・土堀・濠・土塁は上田市の文化財に指定されています。表門は1790 年に造営されたもので、長野県下最大規模の薬医門として貴重な史跡です。校歌に「古城の門」とうたわれ、生徒は毎日この門をくぐって通学しています。

教育課程

令和7年度からの実施と予定
※今後の検討により変更する場合があります。

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	
1年次	体育	保健	現代の国語	言語文化	国語研究	地理総合	歴史総合	数学ⅠⅡA				物理基礎				生物基礎		芸術		英語コミュニケーションⅠ		論理・表現Ⅰ		家庭基礎		GSⅠ	HR						
単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
2年次	文系	体育	保健	論理国語	公共	数学Ⅱ	数学ABC	文学探究 数学Ⅲ	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	古典探究	地理・日本史・世界史から2科目		地学基礎		芸術		GSⅡ	GS情報Ⅰ	HR													
	理系											化学基礎		化学		物理・生物 選択 ※1																	
単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	
3年次	文Ⅰ	体育	論理国語	古典探究	地理・日本史・世界史・倫理・政治経済(4×2科目)							論理・表現Ⅲ	英語コミュニケーションⅢ				文学探究	数学B・数学探究		(約20科目から3科目選択)					HR								
																(約20科目から5科目選択)					HR												
	理Ⅰ														英語コミュニケーションⅢ		地理探究または政治経済		数学ⅢBC探究				※2		HR								
	理Ⅱ					化学			物理・生物 選択								数学探究・数学研究		(約10科目から3科目選択)						HR								

※1＝芸術または地理探究から1科目選択 ※2＝芸術・情報など約10科目から1科目選択

NAGANOから世界の「いのち・健康」を — 持続可能な社会を創るために —

これまでのSGHからWWLでの活動をさらに充実・発展させていきます



グローバルスタディⅠ（1年全員）

グローバル課題やローカル課題を題材としてSDGsについて学びます。県内フィールドワークや国際理解ワークショップ等を通じて自分の研究テーマを設定し、ICT活用能力を身につけながら、個別最適化された学習ツールを効果的に活用し、自ら「課題を発見する力」を養います。

グローバルスタディⅡ（2年全員）

SDGsに関連した自己課題の研究を進めます。生成AIなど先端技術を積極的に活用して社会課題に向き合い、フィールドワークや台湾研修旅行等で様々なグローバル課題の実情を見聞し、報告会で全員が研究の成果をプレゼンテーションで発信します。

グローバルスタディⅢ（3年選択）

2年間の課題研究の内容をさらに深めます。実際の政策提言につながるよう研究を行い、6月に行われる北陸新幹線サミットで成果を発表し、各地域から集まった高校生たちと研究を共有し、意見交換を行います。



SDGs 17のゴール(上) 課題研究発表会(左下) 協働学習(右下)

「SDGs(エスディージーズ)」とは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、**国際社会共通の2030年までの到達目標**です。(国連HPより)

海外研修を通して課題の現状を知る

学びのフィールドは国内だけでなく世界にも

台湾研修旅行(2年全員)

台湾と日本との間に共通する社会問題について、大学や医療機関・地元企業などを訪問し、台湾の実情を見聞したり、意見発表を行います。また現地高校生との交流や活気ある台北の街を散策するなど、異文化を体験します。

アカデミック・スタディツアー

先端的研究を行っている大学や企業等への訪問を通して、専門的な研修の機会を設けるとともに、現地学生等との学術的な交流を行います。また、事前学習を通して学んだ内容に基づいたプレゼンテーションを行いフィールドバックを受けることで、発信力を持ったグローバル人材の育成を図ります。

SDGs・スタディ ツアー

SDGsに関連するグローバルな社会課題について、現地を訪問し、実情を体験的に学ぶだけでなく、その社会課題の克服を目指して、現地で活動を行っている企業(団体)の人々との交流を通して、自ら課題解決のために具体的に行動できる人の育成をめざします。

カンボジア井戸プロジェクト

社会の格差を目の当たりにした生徒たちが「自分たちで行える支援のかたち」を模索する中で立ち上げたプロジェクトです。カンボジアの上下水道インフラが脆弱な地域の人々に井戸を贈る資金を集め、実際に現地へ赴き井戸を建設します。



学校交流(台湾研修旅行)



マニラ首都圏スラム



アカデミック・スタディツアー



井戸を使用する家族と隊員

新しい時代の学びが、ここにある。

自ら課題を発見し、考え、表現する探究的な学び

これからの社会では、知識と技能に加え、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度をもち、1つの解がない問題を解決するための思考力・判断力・表現力を身につけることが求められています。

そして、今必要な学びがここにあります。上田高校は新しい時代の学びを実現してきました。世界を見つめ、課題を発見し、自ら考え自分の言葉で表現する探究的な学び、それが上田高校での学びです。自ら学ぶ課題研究、生徒主体の対話的授業など、一人ひとりの適性に応じて個別最適化された学びを工夫します。

上田高校は、卒業後の多様なキャリアに生きる能力・技能を伸ばすための授業を実現しています。



個々の生徒が納得できる進路指導を目指して

上田高校の進路指導は、卒業後に豊かな人生を送れるように個々の考えを聞き、サポートしています。高校3年間の学びや活動が次のステップに生かせるように、さまざまな可能性を示しアドバイスをすることで、納得のいく進路選択ができることを目指しています。また、変わりゆく大学入試に向けた指導も進めています。

2025年度入試進路実績(一部抜粋)

大学名	合格者数
信州大学	41 (4)
東京大学	3 (2)
京都大学	2 (1)
東京科学大学	1 (1)
北海道大学	4
東北大学	5 (1)
大阪大学	4 (2)
九州大学	1
お茶の水女子大学	1
横浜国立大学	4
千葉大学	8 (2)
金沢大学	14 (1)

大学名	合格者数
早稲田大学	18 (6)
慶応義塾大学	8 (3)
上智大学	12 (3)
東京理科大学	14 (8)
明治大学	32 (9)
青山学院大学	8 (3)
立教大学	10 (1)
中央大学	20 (5)
法政大学	48 (13)
学習院大学	7
同志社大学	13 (1)
立命館大学	20 (6)

※()内は既卒生数(内数)



卒業生の声

九州大学 芸術工学部芸術工学科 環境設計コース 津田 燈さん

私は高校入学前から、なんとなくデザイン工学に興味がありました。高1の頃に九州大学芸術工学部の存在を知り、この大学で学んでみたいという強い憧れを持ちました。そして、高2の時に行ったオープンキャンパスで建築・都市・ランドスケープといった幅広い分野を学ぶことができる環境設計コースに興味を持ちました。遠方であったため、迷うこともあったのですが、自分のやりたいことが一番できそうなこのコースを志望することに決めました。

高3の1学期頃までは、所属していた陸上班での練習や松尾系祭の役員などをしていたため、勉強との両立が大変で心が折れそうになることもありました。それでも、友達・先生方・家族の支えのおかげで最後までやりきることができました。そして、これらの活動によってできた人とのつながりや忍耐力は受験に挑む私自身の支えにもなりました。受験期に入ってから、朝早く学校に来て勉強するなど、自分が集中しやすい時間・環境で勉強することを意識していました。そして何より同級生や先生方が受験に向かって頑張っているところを見ると、「自分も頑張ろう」という前向きな気持ちを維持することができました。後輩の皆さん、勉強だけでなく班活・生徒会・課外活動などさまざまなことにチャレンジし、広い視野で自分と向き合ってください。応援しています。

大阪公立大学 現代システム科学域 山浦 奏風さん

私は幼いころからピアノやドラムを習っていたため、芸術系の学部がある大学への進学を漠然と考えていました。しかし、担任の先生や家族と相談を重ねる中で、その進路には相当の努力と覚悟が必要であることを知り、自分が本当に学びたいことについて真剣に考えるようになりました。高校では現代音楽班に所属していたこともあり、他校の生徒や大人の方など、さまざまな背景を持つ人たちと関わる機会が増えました。その中で、同じ出来事でも人によって捉え方や価値観が異なることを実感し、人間の心についてより深く学びたいと思うようになりました。また、GSの課題研究では黒人差別をテーマに取り組み、現代にも残る社会問題が人の心理と深く関係していることを知りました。こうした経験を通して心理学への関心がより一層強まりました。

本格的に受験勉強を始めたのは高校2年生の秋頃です。塾に通いながら、学校の先生に英文の添削をお願いしたり、二次試験に向けた問題演習にも取り組んだりしました。最後までやりきることができたのは学校の先生をはじめ、家族や友人の支えがあったからです。皆さんも自分の可能性を信じ、周りに流されることなく、最後まで全力で取り組んでください。

班活動

文化班

- 棋道 ● 茶道 ● 書道 ● 写真 ● 美術 ● 被服
- 新聞 ● 放送 ● 文芸 ● CAM(漫画・アニメ・映画)
- 演劇 ● 室内楽 ● 現代音楽 ● 混声合唱 ● 吹奏楽
- 英語 ● 化学 ● 天文気象 ● 食品科学 ● クイズ
- 国際問題研究 ● 郷土 ● 競技かるた ● ダンス

運動班

- 弓道 ● 剣道 ● 柔道 ● 水泳 ● 陸上 ● 山岳
- 硬式野球 ● 軟式野球 ● バドミントン
- サッカー ● 卓球 ● ハンドボール
- 男子硬式テニス ● 女子硬式テニス
- 男子ソフトテニス ● 女子ソフトテニス
- 男子バレーボール ● 女子バレーボール
- 男子バスケットボール ● 女子バスケットボール

書道班 3年 宮下 莉子さん

書道班は初心者も経験者も自分のレベル、興味に沿って作品を書いて展覧会に出品でき、また兼班やボランティア、生徒会活動をしている人も多く、自分のスケジュール管理によっては書道一本に絞らず様々なことに挑戦できます。私はボランティアを掛け持ちした分練習時間は減りましたが、予定を管理する力や気持ちを切り替える力、限られた時間で仕上げる集中力が養われたと感じます。「今」を大切に多くのことに挑戦してほしいです。



弓道班 3年 西村 維さん

弓道班は高校から始める人が多く、顧問・外部コーチの先生方に支えていただきながら、和気藹々とした雰囲気の中で活動しています。弓道は個人競技という印象がありますが、実際は精神面で支え合い、信頼できる仲間が存在が欠かせません。そんな仲間と過ごす時間こそが班活動の大きな意義だと私は感じます。忙しくもありますが、やりたいことを欲張り、掛替えのない仲間と高校生活を楽しんでください。



英語班



弓道班



吹奏楽班



陸上



男子バレーボール班



硬式野球班



カンボジア井戸プロジェクト 3年 箱山 蓮旺さん

私たちの団体では、生活用水に困っているカンボジアの地域に生徒自らが渡航して井戸掘りを行っています。そのために国内では文化祭のバザーをはじめ、自分たちにできる所から行っています。そして、生徒の「やりたい」を尊重してくれるのが上田高校です。生徒会や班活、有志の活動など自分のやりたいこと、好きなことをとことん周りを巻き込んで追求してみてください。きっと最高の3年間になると思います。



アクセス



長野県上田高等学校

〒386-8715 長野県上田市大手一丁目4-32
 電話0268-22-0002(代) FAX.0268-23-5390
 ホームページ <https://www.nagano-c.ed.jp/ueda-hs/>



生徒会長メッセージ

生徒会長3年 岡田 はるかさん

900人を超える生徒が通う上田高校では、その生徒数により様々な出会いや経験ができます。ここで出会った仲間たちと勉強に励むだけでなく、班活動や生徒会活動、さらには課外活動にも積極的に参加することで、自分自身をより成長させることができます。特に上田高校で力を入れているGS（グローバル・スタディーズ）という活動では、自分の興味のある分野を深く掘り下げ、先生方をはじめとする大人や先輩後輩との発表や議論を通して社会に出てからも役立つ技能や、新たな視点や考えを持つことができます。

上田高校は知識面の成長だけでなく自己の成長に繋がる機会も多くあります。そんな上田高校で自分の目標に向けた学びや経験を得ながら、仲間とともに充実した高校生活を楽しみましょう！



上田高校の1年



定時制

全校で80名を超える生徒が在籍する上田高校定時制は、それぞれが目標を持って入学してきます。そこで出会う新たな仲間とともに過ごしていく時間は、日々の学習及びクラブ活動を充実させるだけでなく、人として大きく成長できる機会となるでしょう。

●学習指導

一日4時間の授業を軸に学校生活が組まれています。それぞれの教科を基礎からしっかりと学ぶことで苦手としていた学習へ再挑戦するとともに、さらに深い理解を目指していきます。

●三修制

学習意欲を高く持ち3年間で卒業を目指したい生徒は、この三修制を利用して自分の目標に向けて日々挑戦しています。16時20分から始まる授業にも集中して取り組んでいます。

●生徒会活動

高校生活は学習ではありません。生徒会活動では、松尾祭、球技大会、予餞会などイベントを運営する立場となって在校生が楽しめるよう、話し合いを重ねて運営方針などを決めていきます。

●クラブ活動

授業は20時50分に終わりますが、そこからクラブ活動が始まります。短時間ですが、体育館では、バドミントン部、教室ではものづくり部を中心に様々な活動を準備して皆さんをお待ちしています。

●進路状況

卒業後の進路も様々で、大学・専門学校などへの進学から優良企業への就職まで、しっかりと目標を持って学校生活を過ごすことで夢を実現させていきます。



▲新入生歓迎会



▲授業風景



▲予餞会